

- 2 . 科学わくわくプロジェクト

科学わくわくプロジェクトは、マツダ財団と広島大学が連携して青少年の健全育成と科学技術の振興を目指して実施する事業です。本事業は、小中高の児童や生徒が科学に興味を持ち、科学する楽しさを学び、科学者・技術者となる志を培ってもらい、そして科学・技術を大切に作る地域風土づくりに貢献したいという視点からの研究助成です。

科学わくわくプロジェクトは、

- ・ 現場の教員との議論により生まれたプロジェクトである
- ・ 財団と大学の連携事業である
- ・ 多様な事業で構成される複合的な事業である

といった特徴を有すると共に、教育効果の評価を通じて学校教育への波及効果も期待されます。

(1) 助成趣旨

次の時代を担う小学生・中学生・高校生に、考えること、学ぶことにわくわくする体験、正解のない問題に取組みブラックボックスをこじ開けてみる体験といった機会を継続的に提供することにより、科学する心を育てることを目的としています。

(2) 助成対象

助成先：広島大学科学わくわくプロジェクト研究センター

研究代表者：広島大学大学院教育学研究科 教授 林 武広

<主要事業>

サイエンスレクチャー（広島会場）：2005年8月9日 開催

- ・ 講師：広島大学大学院工学研究科 金子 真 教授
- ・ テーマ「人間の能力を超えた世界を覗いてみよう」、中学生対象（210名）

サイエンスレクチャー（福山会場）：2005年12月25日開催

- ・ 講師：広島大学大学院医歯薬学総合研究科 升島 努 教授
- ・ テーマ：「生きもの まじまじ」、中学生対象（110名）

ジュニア科学塾：2005年6月4・5・12・19日、

2006年2月19日 開催

- ・ 塾長：広島大学大学院理学研究科 細谷 浩史 教授
- ・ テーマ：「太陽の光を利用して生きることのできる動物 - 原生動物ミドリゾウリムシの不思議 -」、中学生対象（24人）

科学塾：2005年10月30日、11月6・13・20日 開催

- ・ 塾長：広島大学大学院理学研究科 大杉 節 教授
- ・ テーマ：「高校生がチャレンジする相対性理論の世界」、高校生対象（22人）

小学理科ネット：2005年8月23日模擬授業 開催

- ・ 講師：広島大学附属東雲小学校 土井 徹 教諭 他
- ・ テーマ：「理科の授業づくり こうすれば！」

(3) 助成金額

600万円